

2021年12月25日

ブロッコリー栽培におけるネバリン施用効果について

日本肥糧株式会社

1. 目的 ブロッコリー栽培において、水溶化腐植入り土壌改良資材「ネバリン」を施用し、その効果を確認する。
2. 設置場所 静岡県島田市
3. 農協名 JA大井川金谷営農経済センター
4. 品目 ブロッコリー
5. 品種 夢あたる
6. 播種日 2021年8月13日
7. 定植日 2021年9月1日
8. 調査日 2021年11月4日
9. 施用資材 試験区:ネバリン 200kg/10a相当
 対照区:資材施用なし ※肥料は試験区、対照区に同一の管理をした。

10. 施用試験の状況

収穫後の地上部と根部の状況を第1図から第6図まで示します。



第1図 施用区の収穫物(2021.11.04撮影)



第2図 対照区の収穫物(2021.11.04撮影)



第3図 施用区の収穫物茎写真(2021.11.04撮影)



第4図 対照区の収穫物茎写真(2021.11.04撮影)



第5図 両区画の根部写真(左:施用区、右:対照区)(2021.11.04撮影)



第6図 両区画の根部洗浄後の写真(左:施用区、右:対照区) (2021.11.04撮影)

11. 調査結果

1) 収穫調査結果

第1表 収穫物調査結果

区画	全重(kg)	調整重(g)	軸径(mm)	根長(m)	根乾物重(g)
ネバリン区(T)	1.953	484.0	5.2	100.2	3.94
対照区(C)	1.508	397.5	4.7	87.6	2.94
T/C × 100	130	122	111	114	134

注1) 表中の結果は各区画6個体の平均値。調整重は、各区画10個体の平均値。

注2) 根長は直径0.2～2mmの細根をルーツキャナーにて測定。

12. 結果および考察

ブロッコリー栽培におけるネバリン施用区と対照区での地上部の草勢や収穫物について調査を行った。

①収穫物については、ネバリン施用区の方が対照区と比較して、全重 1.3倍、調整重 1.22倍、軸径 1.11倍と優位であった(第1表)。

②収穫後に両区画の根の状態を確認するために、根部調査を実施した。

ネバリン施用区は、対照区に対して、根長 約1.14倍、根乾物重 約1.34倍と根張りが増加していた。

特に養分吸収に必要な細根の発根が優位であった。

以上より、ブロッコリー栽培におけるネバリンの施用は、ネバリンの水溶化腐植の効果により、

根の発根促進やキレート効果による養分吸収が高まり、定植後の活着促進、地上部の草勢や収穫物の収量性・品質向上に繋がると考えられる。

以上